

3 測定局の環境濃度特性等

(1) 基準適合状況の推移

平成 14 年度から平成 21 年度までの一般局・自排局別の NO₂ および SPM の環境基準達成状況の推移を図 3.1 に示す。

NO₂に係る環境基準は、納屋測定局で毎年（平成 16 年度を除く）達成していない。

SPMに係る環境基準は、平成 19 年に一般局 1 局（桑名上野浄水場）で、自排局 3 局（納屋、北消防署、国道 258 号線桑名）で非達成となったが、平成 20 年以降は達成している。

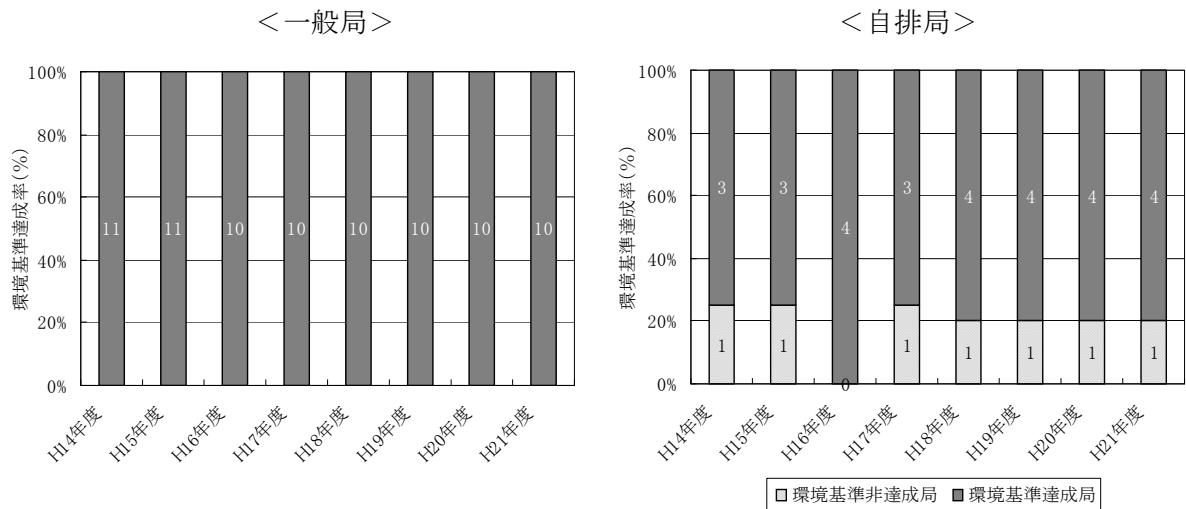


図 3.1(1) 環境基準達成状況の推移（対策地域内・NO₂）

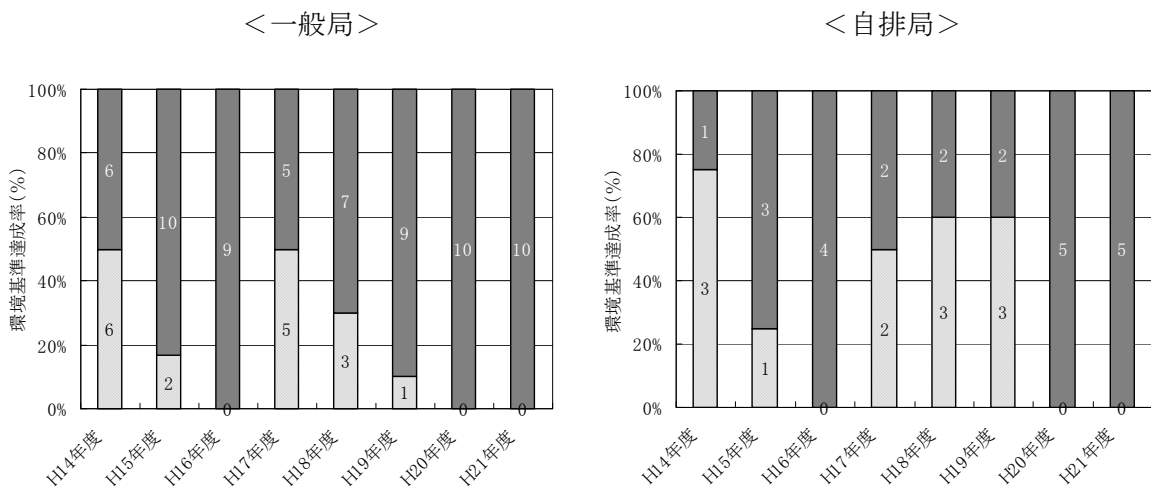


図 3.1(2) 環境基準達成状況の推移（対策地域内・SPM）

注：NO₂の環境基準：1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること
 SPMの環境基準：1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。

(2) 納屋測定局のNO₂濃度の推移

NO₂に係る環境基準を達成していない納屋測定局の平成14年度から平成21年度までのNO₂年平均値及びNO₂日平均値の年間98%値の推移を図3.2に示す。

平成17年度以降のNO₂年平均値及びNO₂日平均値の年間98%値はほぼ横ばいである。

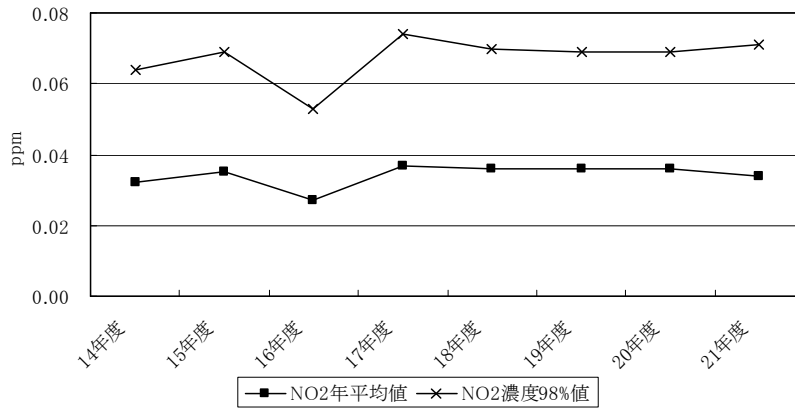


図 3.2 NO₂年平均値およびNO₂濃度98%値の推移 (納屋測定局)